

除草のお役立ち情報誌

ザクサクラブ

**雑草に、
素敵な春が
訪れませんかように。**

非選択性茎葉処理除草剤

ザクサ
クラブ
液剤

秋の
除草に!!

2013 vol.2

手強い大型雑草 ギシギシは早期のうちに防除!!

酷暑だった夏も過ぎ稲等の作物の収穫を終え、ようやく一息という方も多いのではないのでしょうか？そんな「ほっ」としている間にも、雑草は来年の春に向け根を張り続けています。その中でも特にギシギシは強害雑草で、長大な黄色の根を持ち、1個体が1万粒もの種子を作ります。さらに、その種子の発芽率は土壌中で20年経っても80%以上とされています。ギシギシという名前の由来は「茎どうしを擦り合わせるとギシギシ鳴るから」、「穂を振るとギシギシ鳴るから」等、ユニークな諸説がある雑草ですが、「ギシギシ鳴る」ほど大型化する前に、ザクサ液剤で早期に防除をしてしまいましょう。

防除の ポイント

- ザクサ100～200倍液を株全体にしっかりと散布しましょう。
- 草丈が高くない早い時期の散布がより効果的です。

■ ギシギシ(ザクサ200倍での除草効果)



散布前



散布3日後



散布7日後



散布14日後

● ギシギシ

タデ科の多年草で、畑まわり・牧草地・荒地などに生育しています。大型で夏草との競争にも強く、地下に太い根を持ち、根出葉で越冬・繁殖できる難防除雑草です。茎は直立し、高さは60～100cmほどになり、5～7月に淡い色の小花をつけます。また、一度枯れたように見えても、根出葉や土壌中に種子が大量に残っています。畑では整地後、一度雑草を発芽させるため一定期間をおき(40～60日が目安)、雑草が出揃うのを待ち、展葉後大きくならないうちに防除すると、より効果的です。



果樹園の雑草は 秋処理で来春の農作業を軽減!!

秋、果樹園に残った雑草は生育が旺盛になり、冬が来るまでにたくさん種子を作ります。これらの種子は土中で越冬し、春に一齐に発芽することで、忙しい農作業の支障となることがあります。

秋にザクサ液剤で除草を行い、雑草に種子を作らせないことで、雑草発生源を断ち、来春の除草作業の省力化につなげましょう。

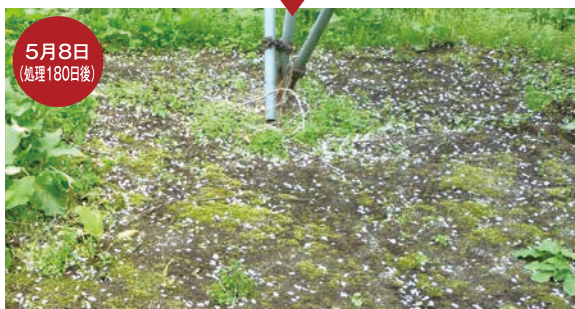
枯らした状態を長く保つ

ザクサ液剤の特長のひとつは、「抑草期間」が長いことです。秋に散布することで、各種雑草をしっかり枯らすことができるため、効果の持続期間が長く、翌年5月まで雑草を押さえる事ができます。

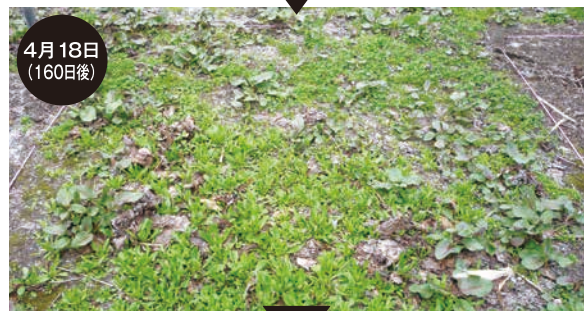
無処理の場合、越冬できない一年生雑草は一時的に枯れますが、5月には生育が旺盛になります。

【試験場所】 2011年11月～2012年5月 Meiji Seika ファルマ(株) 社内試験 【処理薬量】 1,000m^l/10a

ザクサ液剤処理



無処理



獣害防止用電柵の効果を保つために、こまめな防除を!!

- 電柵周辺の雑草が成長し電線に触れると、漏電がおきて電圧が落ちてしまいます。
- 手刈り作業だけでなく、除草剤の使用や抑草シートを敷く等、こまめな防除がおすすめです。
- ザクサ液剤は電線に直接薬液がかかっても、電圧や電線劣化への影響がほとんどないので、安心してお使いいただけます。



みかん畑の除草管理に ザクサ液剤を勧めています!

JAみっかび 営農部 指導購買課
井口寛樹さん

静岡県三ヶ日地域では、温暖で日照量の多い気候と水はけのよい土地をいかして、高品質で市場価値の高い「三ヶ日みかん」を全国の皆様にお届けします。また、お近くに来られた際は三ヶ日インター近く「特産センター」にも是非お立寄り下さい。



JAみっかび 営農部 指導購買課、柑橘課 〒431-1497 浜松市北区三ヶ日町三ヶ日885番地 TEL 053-525-1016
JAみっかび 特産センター TEL 0120-055614 <http://www.rakuten.ne.jp/gold/mikkabi/>

取材
協力

